

令和 7 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名
石川県

行事名称	妙成寺重要文化財防火訓練
実施期間・日時	令和8年1月24日(土) 午前10時00分～午前10時20分
実施場所	妙成寺境内 石川県羽咋市滝谷町地内
主催者	妙成寺、羽咋消防署、羽咋市、羽咋市消防団

■実施内容

訓練の想定

落雷により本堂から出火。強風にあおられ五重塔へ飛び火し、延焼拡大しようとしている。

訓練の内容

本堂の自動火災報知設備が作動し、寺務所内受信機で執事が火災を覚知し「119番通報」した。執事が現地視認後、僧侶に守るべき文化財の持ち出しを指示し、再度「119番通報」し、火災の状況を知らせた。寺院関係者は初期消火を行い、参拝者を避難させ、本堂付近に設置された屋外消火栓を操作して消火活動し、駆けつけた消防署、消防団第1分団・第6分団も協力して消火に当たった。

参加者及び役割分担

妙成寺職員(6名)：初期消火、119番通報、半鐘の打鳴らし、文化財搬出訓練、避難誘導訓練、挨拶
 団本部(3名)：全体統括、講評
 羽咋消防署(18名)：放水訓練、講評
 羽咋市消防団第1分団(11名)、第6分団(22名)：放水訓練
 滝谷町自衛消防隊(7名)：放水訓練
 羽咋市(7名)：副市長、環境安全課4名、文化財課2名)：挨拶、講評、記録立会

特に工夫した点

放水口は上方に向け、建物に影響の無いように配慮した。境内地が広く階段の数も多いため、より安全な人員の動きに留意した。

問題点・課題

特になし。

その他

毎年の文化財防火デーに合わせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地元住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の重要性を再認識する機会となっており、今後も継続して実施することが望ましい。

訓練風景



本堂前 初期消火



五重塔前 放水銃操作、放水訓練



本堂前 放水訓練